

## 第1回 人口減少対策検討懇談会の結果について

## 1 開催日時

平成27年6月30日（火） 午後4時00分～午後5時45分

## 2 会長・副会長等の選任

会 長：三橋 伸夫 委員（宇都宮大学大学院工学研究科 教授）

副 会 長：山島 哲夫 委員（宇都宮共和大学シティライフ学部 教授）

## 【自然増部会】

部 会 長：山島 哲夫 委員

副部会長：渡辺 道仁 委員（市議会議員）

## 【社会増部会】

部 会 長：三橋 伸夫 委員

副部会長：真壁 英敏 委員（市議会議員）

## 3 議事

- (1) 「（仮称）宇都宮市人口ビジョン」および「（仮称）宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について
- (2) 人口減少対策検討懇談会における検討内容について
- (3) 宇都宮市の人口等の状況と将来人口推計について
- (4) 市民アンケートについて

4 主な意見（詳細については、[資料1-2](#)参照）

## 【自然増部会】

- ・ 子どもを産んだ場所に地域愛が生まれる。「幸せビジョン」を描くなど、子どもを産み育てる喜びや夢を共有できるモチベーションを高める機運が必要である。
- ・ 子育ては良い、子育ては楽しいというポジティブなイメージを作り上げる。
- ・ 女性も男性と同じように働くことのできる社会を実現する。
- ・ 生産年齢人口の減少によって、技能の伝承や中間管理職の不足といった課題があり、そうした層の増加が必要である。
- ・ 自分の地域に誇りを持ち、切磋琢磨しながら皆で向上することが必要である。
- ・ 地域が一丸となって、住んでいる地域を愛する取組が大切である。
- ・ 宇都宮の良い面を前面に押し出すことが必要である。
- ・ 宇都宮が良くなることで、県全体の活性化につなげることが重要である。

## 【社会増部会】

- ・ 企業誘致や企業の撤退・流出を食い止める取組，操業継続のための事業再生，円滑な事業継承による雇用の保持，新規創業や第二創業への取組が重要である。
- ・ 企業間などの「連携」と「ブランド」の構築，産業の地産地消が必要である。
- ・ 宇都宮の企業の魅力や採用情報の発信を充実する必要がある。
- ・ 都会のスキル保有者と地方企業をマッチングし，就業・移住の促進が重要である。
- ・ 農林業6次産業化，観光振興，CCRC，本社の地方移転等は新たな成長産業となる。
- ・ 首都圏の大学での情報提供・説明会等による，Iターンの増加が重要である。
- ・ 農業活性化には，新規参入者が生活できるような農業経営の支援が必要である。
- ・ 発想・価値観・パラダイムを転換し，50年先の「まち」の姿を明確化する必要がある。
- ・ 人口の自然増と社会増は循環構造であり，その循環の仕組みづくりが必要である。
- ・ 今ある地域資源である「歴史的建造物・景観など」を活用するとともに，将来の資産となる「文化・スポーツ・教育など」を育成し，まちの魅力づくりが必要である。
- ・ 優秀な人材の確保に向け，働きながら能力アップできる仕組みが必要である。
- ・ ネットワーク型コンパクトシティの形成をしっかりと進め，人口密度の偏在に対応した公共施設の再整備や，魅力的な都市の形成の取組が必要である。